

凡例

一、本資料集は、東京都公文書館に所蔵されている行政史料のうちから、大正九年（一九二〇）の大学令にもとづく中央大学設立以降、昭和十八年（一九四三）に至る本学関係の史料を調査・収集し、編集したものである。なお、本資料集の発刊をもって同公文書館所蔵史料の収集・刊行を、ひとまず終了したものとする。

一、既刊資料集第一集の刊行後、新たに収集した関係史料については、拾遺として本書に収録した。

一、参考として、三菱商業学校・東京攻法館・東京英語学校・中央高等予備校・中央大学商業学校・杉並中学校の關係史料を収録した。

一、史料の見出しは、その内容にそくして適宜附した。

一、史料の漢字は常用漢字表を使用し、常用漢字表にない漢字および固有名詞の特別な文字については、そのまま使用した。また合字およびかなづかいは原文のままにした。

一、史料の収録にあたり、疑義が生じた場合は適宜（ママ）を附し、あるいは傍に括弧に入れて注記した。

一、抹消・貼紙の部分は重要と思われるものに限って注記した。

一、欄外の書き入れは、「（欄外注記）」として史料の末尾に記した。

一、公的な印はすべて印と記し、人名を記して私印が附してある場合は「（印）」、私印のみの場合は「（〇〇印）」と記した。